

2013年県連フリー登山

八ヶ岳登山報告

八ヶ岳登山1日目報告

(7月28日)

JR広島駅前発(7:30)⇒中央高速道原PA下車(16:00)⇒タクシー⇒八ヶ岳山荘(17:00)

八ヶ岳登山2日目報告

(7月29日)

八ヶ岳山荘出発(7:50)⇒林道歩き⇒美濃戸山荘(9:40)⇒赤岳鉱泉(12:00)

雨の出発となる。地元中学校の登山集団を先にやって、美濃戸山荘まで林道を隊列を組んで歩く。美濃戸山荘からは登山道になるので、うさぎ組・かめ組に分かれ、北沢コースをとって、豪快な瀬音を聞きながら今日の宿となる赤岳鉱泉に着く。

昼からも雨のため宿で過ごす。天候の回復が見込まれそうにないので、明日からの山行行程を検討する。

(記 川村文子)

八ヶ岳登山3日目報告

(7月30日)

赤岳鉱泉出発(7:30)⇒行者小屋(8:10)

ルート調査:行者小屋(8:50)⇒地蔵尾根ハシゴ上(9:40)⇒行者小屋(10:15)

:行者小屋(11:15)⇒中山展望台(11:25)⇒行者小屋(11:50)

:行者小屋(午後から)⇒文三郎尾根を左に見て中岳尾根⇒行者小屋

天候次第で山行行程が大きく左右される事を深く思いました。

行者小屋には早く着いたので、短い時間でしたが、明日のルート選定に役立つよう、雨とガスの中を周辺の登山道の下見をしました。

午後の中岳尾根の途中からは、ガスも取れ始め八ヶ岳の主峰 赤岳が姿を見せました。名のごとく赤茶けた姿で岩の荒々しいたたずまいに思わず感動してしまいました。赤岳に登る文三郎尾根を見ると、地蔵尾根で登ったような人工の階段が多数取り付けてあり急傾斜が想像されました。

行者小屋に戻ってからは、明日の早朝出発に備え、一時預けの荷物を分類して、快晴に期待して早めの床に就きました。

(記 曾田 映子)



赤岳鉱泉出発の朝

八ヶ岳登山4日目報告

(7月31日)

行者小屋 (5:00) ⇒文三郎尾根分岐 (6:15) ⇒赤岳山頂 (7:00 着) ⇒赤岳頂上で朝食・休憩⇒
赤岳山頂発 (8:00) ⇒文三郎尾根分岐 (8:40) ⇒中岳鞍部 (9:30) ⇒行者小屋着 (10:35 昼食)
行者小屋発 (11:30) 南沢ルートで美濃戸 (13:50) ⇒美濃戸口(八ヶ岳山荘 15:10)⇒タクシー⇒もみの木
湯 (19:00) ⇒タクシーにて原PAへ

4時起床、空を見上げると半月と星が見え、ヤッター！4時50分には準備体操。わくわくしながら、
一歩一歩足を進めました。ガレ場は、慎重にです。コマクサ、ゴゼンタチバナ、ききょう等々高山植物
にあいさつしながら、頂上へ。

朝食は赤飯弁当を赤岳頂上小屋付近で北アルプス、中央アルプス、南アルプス、富士山などの大パノ
ラマに感動しながら、おいしくいただきました。

下山は、阿弥陀岳の樹林帯を歩き、行者小屋へ。お昼はカレーライスを小屋で完食し、硫黄岳、横岳、
赤岳の雄姿を再度見上げてありがとう！

別世界の4日間はあっとの間でした。

(記 田所 明子)



ガスがとれ姿を見せた赤岳

参加者 14名

CL 西田 SL 花岡 SL 原田
島田 三重 宮木 西本 村田
波平 幾久 川村 曾田 川野
田所



八ヶ岳の主峰赤岳(右側)と行者小屋(左側)